

同窓会報 第4号

発行 川崎医療福祉大学同窓会
〒701-0193 岡山県倉敷市松島288
TEL・FAX (086)462-8541



「同窓会ってなに？」

み

みなさん、こんにちは！お元気ですか？

ご無沙汰しておりました、同窓会報第4号を平成10年9月以来お届けいたします。

平成11年度中に発行する予定が、今年度までずれ込んでしまい、大変申し訳なく思っております。（反省、反省…）

「現況報告」

さて、同窓会運営をスタートさせてからまる5年が過ぎ、今年で6年目となりました。そして、また、われわれの母校川崎医療福祉大学は開学10周年目に入るという節目の年でもあります。

今年の3月に第6期生の方々が卒業され、現在の同窓会会員数は2868人という状況であり、ちなみに、今年の4月に入学された第10期生からは、新たに医療福祉マネジメント学科と医療福祉環境デザイン学科が新設され、現在の在校生数は2970人となっております。

「同窓会ってなに？」

会長をさせていただき、みなさんから会費を徴収している私がこんなこと言うのは大変不適切なことでありますが、正直言

って「同窓会ってなに？」と思うことがあります。そして、この疑問を幾人かの人に聞いたりとすると、卒業して数年くらいではピンとはこないもので、数十年ほど先になれば分かってくるだろう？ということですね。みなさんは、どうお考えになりますか？

とにかく、今の同窓会でこれだけは確実にやろう、と決めていることは下記の3事業です。

1つは、会員住所の蓄積と更新、そしてその管理です。今の段階では、会員個人個人に毎年会員数が増えつづけて行くことは何の関係もないことですが、将来的にみて様々な場面でこの輪の広がりや意味を持ち、個人に対して、また、公共なものに対して効力を発揮する時がやって来ると考えています。その時のために会員住所の管理は最も重要な同窓会の事業だと思えます。また、実際に個人住所を悪用しようという事がこれまでに起こっていますので、管理には細心の注意を払い、また、みなさんも十分名簿の取り扱いには注意してください。

2つめは、この会報の発行です。会報は今のところ唯一の同窓会とみなさん、母校とみなさん、そして会員同士をつなげるものとなっています。しかし、

今のところこの会報が会員の積極参加のもとに、いろいろな声や意見を発信したりするものになっていないのが現状です。このところを改善し、読む側にとっておもしろいというか、意味のあるものしたいと考えています。

3つめは、会費の収集とその管理です。会の運営には、みなさんが納めてくれた大切なお金が使われています。あたりまえのことですが無駄遣いすることなく、また、会員間で不公平が起らないよう基本的には会員全員から納めていただくことにしています。

「最後にお知らせ」

以上3つのことをやって行くにあたって組織としては不安定な状態ですが、少しずつ改善して行こうと思っております。

大学の8階には同窓会室があり、通常月曜日から水曜日までの午前中はパートの方が勤務しています。同窓会にご意見、ご希望などをお寄せください。また、同窓会では、同窓会事業をいっしょにしてくれる人を捜しています。是非興味がおありの方は一度ご連絡ください。お待ちしております。



同窓会長 尾田 幸夫

● ● ● トピックス ● ● ●

平成12年度新設学科紹介

(医療福祉マネジメント学科・医療福祉環境デザイン学科)



「はじめまして」

医療福祉マネジメント学科 学科長 **岡田 聚**

本年度から医療福祉学部の新しい学科の一つとして開設されました医療福祉マネジメント学科です。どうぞよろしくお願いいたします。

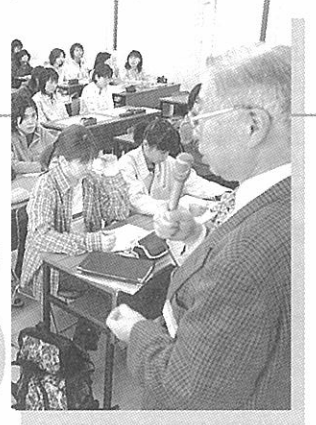
創設10年の威風を誇る川崎医療福祉大学の歴史の一ページを刻む機会を与えられ光栄に思います。同時に、社会の要請と学生諸君のニーズに応えるため、教員一同精一杯の努力を払いたいと覚悟を新たにしています。

医療福祉マネジメント学科は、川崎医療短期大学の医療秘書科を発展的に改組転換し発足したものです。医療秘書科は過去23年の歴史を持っており、主として医療機関の管理補佐要員としての専門秘書の養成に力を注いできました。

このたび、これまでの医療秘書の専門領域に加えて、さらにベクトルを広くとり、医療福祉施設の経営管理という新たな座標軸の教育理念のもとに、4年制の学科として一步を踏み出したところです。新しい枠組みでの出発ですので、これから構築していかねばならないことがたくさんあります。教育研究の実践を積み重ねながら、学生諸君が誇りと充実感を持てるような、明るく活気に満ちた学科にしていきたいと願っています。理論と実践力のバランスのとれた、品位の高い実力ある、「できるマネジメント・プロフェッショナル」養成に努力していきたいと思ひます。

どうぞこれからの医療福祉マネジメント学科の進展について、同窓会員諸

賢のあたたかいご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。



「学科紹介」

医療福祉環境デザイン学科

学科長

福屋 崇



西暦2000年4月6日入学式において第一期生を迎え入れ、川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉環境デザイン学科が正式に船出致しました。スタッフ一同身の引き締まる思いで一杯です。

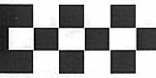


「医療福祉環境デザイン学科」ではバリアフリーデザイン、さらにはユニバーサルデザインを中心に据えて、人間とは何かを見つめ直し、人にとってより良いデザインとは何かを追求します。医療・福祉の基礎知識を持ち、使う人の立場に立った人間性豊かなデザイナーを育成することを目標としています。具体的には医療・福祉に関する情報をポスター、イラストやコンピュータグラフィックスを使って解かりやすく、印象的に伝達するためのデザイン（視覚伝達デザイン）や病院・福祉施設から住宅までを住みやすくしたり、医療福祉機器や車椅子などをより安全に使いやすくデザイン（生活環境デザイン）する学科です。つまり、人間を取り巻く情報・道具・環境をより美しく、より快適に、より楽しくなるように提案します。「機能重視のデザインからひとに優しいデザイン」をキーワードと

して、21世紀を豊かな生活文化の時代とするために医療福祉とデザインの融合を幅広く探求し、医療福祉環境をデザインする専門技術者を養成します。学生の能力、興味、適性、卒業後の進路を考慮した勉学の指標として、視覚伝達デザインコースと生活環境デザインコースの2つのコースを設定し、社会的に広く受け入れられる資格所得の機会を提供するため学芸員、2級建築士、インテリアプランナーの受験資格を得るための科目を用意しています。

学科としての体裁は整ったとは言うものの、まだまだ独り歩き出来る状態であるとは申せません。スタッフ一同、医療福祉環境デザイン学科を一日も早く川崎医療福祉大学の名に恥じない一人前の学科へと育てて参りたいと思ひています。力いっぱい頑張っ参りますので、皆さまの御支援、御鞭撻を御願ひ致します。

● 恩師の近況 ●



臨床心理学科の卒業生の皆さん元気になってますか？ 早いもので今年は開学10周年を迎えます。皆さんが卒業してから私たちの学科にもいろいろな変化がありました。例えば、学科の創設に尽力された大羽先生が今年の3月に退職されましたし、木下先生と西村先生もお退めになり、それぞれの出身地に戻られてご活躍中です。反面、第一期卒業生を送り出した後にも次々に多くの先生方をお迎えし、現在の教職員の数は20人になります。また、学生の数も増えました。まず、一学年の定員が50人から60人に、3年次編入生が5人、大学院も修士課程および博士課程の一学年の定員がそれぞれ8人と2人、といったところです。ちなみに現在の臨床

心理学科は、学部と大学院を合わせて学生数309人という大所帯です。

さて社会に目を向けると、家庭や学校での問題をはじめ、医療や福祉の現場で心理学の必要性がクローズアップされています。臨床心理学の社会的ニーズには素直に喜べない面もありますが、とにかくも良い人材を輩出するという使命を担っているのは確かです。そのためには大学内での基礎や臨床の教育はもちろん、学外の実習や実社会の生きた情報が大切になります。そこで卒業生の皆さんにお願いがあります。求人情報はもとより、実習状況、職場での体験や苦労話、などなど後輩に知らせたい情報をどんどん送ってきてください。逆に私たちもインターネットに

卒業生の皆さんへ



臨床心理学科教授
金光 義弘

よるホームページを開設して、学科の情報をできるだけ発信したいと考えています。これからは大学と卒業生との連携を深め、確かなネットワークを作ることがますます大事になると思います。楽しいときも困ったときも、お互いに有効な情報交換をして助け合っていきたいものです。

当面は下記の大学のホームページで学科紹介や公開講座をクリックしてみてください。

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/>

みなさんのご活躍を祈念しています。



21世紀を生きるあなたへ

保健看護学科教授
菊井 和子

20世紀は日本の女性にとって画期的な時代でした。女性解放の扉が開けたのです。封建時代には女性を虐げた性差別は、今世紀も終わり近い今、意識の上でも行動の上でも驚くほど少なくなりました。

男女協働参画社会の実現は、ライフスタイルに関係しています。女性の服装がズボン（パンツというようですが）になりました。食料もミルクもオムツも、カップルで買いにいきます。余暇には家族で海外旅行です。素晴らしい

ことではありませんか？

そして最近では、家事・育児・介護に興味を持つ男性が増えはじめました。外出時に子供を抱くのは父親というのが常識です。スーパーで買い物籠を持つ男性もエプロン姿で台所に立つ男性もめずらしくありません。育児休暇をとったり、介護のため退職する男性も現れはじめました。長年、女性だけの職場であった看護の世界も男性に開かれ、有能な看護師が活躍するようになりました。

何故、男性は女性の仕事に興味を持ち始めたのでしょうか？ 長年、女性を虐げたことへの反省からでしょうか？ そうではないと思います。それは、女性の仕事が面白いからです。家事・育

児は創造的な仕事です。ケアは愛の仕事です。毎日が制作の日々で、それは人間を生み、育て、慈しむ仕事なのです。こんな楽しい仕事を女性に占有させることはない、と男性共が目覚めたのです。人間を生み、育て、慈しむのは世界で最もやりがいのある、楽しい仕事です。この仕事は苦しいところもありますが、男女で力を合わせてやれば喜びは2倍、苦しみは半分になります。これが本当の男女協働参画社会です。

過去の規範にとらわれず、新しい価値を見つけてください。生き生きと生きてください。あなたがたが生きる21世紀を素晴らしい時代にしてください。

科学にもっと親しみを



医療情報学科教授
近藤 芳郎

川崎医療福祉大学創設以来今日まで理系共通科目の講義を担当してきました。「物理学」、「ヒューマンエコロジー論」、「自然科学概論」、「科学と社会」を担当してきた教員として講義に対する考え方、日頃考えていること、心掛けていることを述べてみたいと思います。

川崎医療福祉大学へ入学される学生さん達は大半は文系の学生さん達です。また、現在、日本では理系離れが中でも物理（これは理科中の理科）離れが進んでいると言われています。このような

当大学の实情、社会の現状に鑑み、科学にもっと親しみを持っていただくことを念頭に、しかし、何よりも私の講義で希望に燃えて入学した学生達を失望させてはならないということを第一に考えて講義をしてきました。

理科離れ・物理離れの原因の一つに科学に対する誤解があると思います。法則・定理をわけもわからず覚えさせられ、わけもわからず適用して計算ばかりし、時に成功するが大抵は失敗して嫌になったり、膨大な知識を暗記させられうんざりしたりするというものです。これは教える側も教わる側も良くないのですが、本来、科学には不思議や謎が一杯あり、面白くて、楽しいものなのです。科学の本質は「証拠をあげて推論する」

というもので、決して計算ばかりしたり暗記ばかりするものではありません。これに関連して京都青少年科学センターに設けられている朝永振一郎(1965年度ノーベル物理学賞受賞者)の色紙の言葉をあげておきます。

そ う し て 最 後 に な ぞ が と す け る	そ し て 考 え る こ と	よ く 観 察 し た し か め	ふ し ぎ だ と 思 う こ と
--	--------------------------------------	---	---

小さい子供は何にでも興味を示し、疑問をもち「なぜ？」という質問を連発します。この質問に答えようとするところこそ、それが科学なのです。このように子供は本来、科学が好きなのですが、どういふわけか日本では大学に入る頃には科学が嫌いになる人が増えます。このような人達に少しでも科学を好きになってもらうために、私の講義では毎回の感想文に疑問・質問を書いてもらい次回に出来るだけ回答して学生達の日頃の疑問・謎の解消に努めています。この質問コーナーは好評のようですが中には早く講義を進めてくださいという人もいます。これらの質問にきちん

と答えられることも多いのですが、それ以上に現在の科学でもわかっていない質問が多い。このとき、学生達には「現在の科学ではわかっていない」とはっきり言い、「科学は万能でなくむしろ無能である」ことを強調します。それでも科学・技術が現代社会を便利にしているのも事実で、その科学・技術が原爆を作り、核兵器を作り、遺伝子技術を開発し、人間社会の倫理を根底から覆そうとしています。私達市民が科学に無知であってはならない時代それが現代なのである。

科学の基礎は「論理的に推論する」ということにあります。実益を重視す

る余り、基礎をおろそかにし、How toものの訓練にあけくれ目先のメリットのみに目が暗んでいるというのが日本の現状のように思います。科学の基礎が企業も個人も欠如しているように思えます。メリットがあろうがなかろうがやるべきことはやらなければいづれ限界・破綻がきます。卒業生・同窓生の皆様、自分自身のためだけでなく、ご家族・子供さんのためにも日進月歩の科学に目を向けて社会を監視し、世界の平和に貢献していただきたいと願っています。

科学にもっと親しみを

基礎を大切に

感覚矯正学科教授

喜多 弘



同窓生の皆さん、お元気で忙しい毎日をお過ごしのことと思います。本学の今年の最終就職率は、昨年とほぼ同じ94.3%で、この時勢としてはすばらしい成績だと思います。

この成果は、卒業生の皆さんのご努力は勿論のこと、それを陰で支えられた大学の多数の教職員の方々のご尽力によるところが大きいと思います。それと共に忘れてはならないのは、同窓生の皆さんの各職場におけるご健闘ぶりです。皆さんがそれぞれの立場で日ごろ高い評価を得ておられるからこそ求人も多くあり、これが高い就職率に繋がっていると思います。皆さんの毎

日の行動が後輩諸君の将来に直結していることを忘れずに、日々ご活躍下さいますよう、お願い致します。

大学のモットーのひとつに「学問を極める」というのがあることは、皆さんのご記憶に新しいことと思います。このモットーは、大学時代のみではなく、社会に出てからも生きているわけで、生涯勉学に勤めることは職業人としての基本条件だと思います。勉強することなく、漠然と日を送れば、一流の職業人にはなれないでしょう。私はこの勉学の中に、基礎的なことを絶えず学ぶことを入れたいと思います。基礎的な勉強は日々の仕事に直接関係がないように見えるかもしれませんが、でも基礎的な勉強を身につけてこそ、応用力がつかうと思います。皆さんの日々のお仕事は応用問題を解くようなもので、大学時代に学んだモデルケースは少ない

と思います。調子の良くない投手はまず走り込みをします。投げることと走ることは一見関係がなさそうですが、実はそうではなく、足腰を鍛えることによって威力のあるボールが投げられるようになることは、皆さん良くご存知のことと思います。卒研で今の仕事と関係のないテーマをされた方も、その時養われた論理的な物の考え方が、今の仕事をするとき無意識的に生かされていると思います。現在認知科学が進んで、例えば発語の際脳の活動がどうなっているかというような研究がNature などによく出ます。こういう知識を身につけて言語治療をするのが理想的と私は考えております。どうか皆さんも、絶えず基礎的な知識を身につけるよう努力して、日々のお仕事に邁進してください。

同窓生の皆さん、お元気ですか。大学も全10学科、大学院修士課程・博士課程も含めると1学年879名という大所帯となりました。今では、皆さん方は社会人として職場でまた家庭人や学生として、きつとしっかり大地を踏みしめた生活をなさっていることと思います。それに引き替え、現代の学生さんたちは今流行の厚底靴やミュール、染めた髪、思い思いの様相で構内を闊歩、自由を謳歌しているようです。責任ある仕事や、家庭をもっている皆さんには、学生当時のような自由気ままは許されないこ

とでしょう。

卒業生の皆さんにはこれからの長い人生を生きていく上で、常に感動の心を持ち続けて欲しいということを望みます。そのためには、読書、良い音楽、絵画や多くの優れたものの鑑賞もよし、旅に出て自然に触れるのも良いですね。人それぞれの生き方に感じ入ることもあるでしょう。例えば日常のほんのささいなことでも感動はあるはずです。

本学は周囲を山に囲まれています、都会育ちの私は学内でずいぶん多くの自然現象に驚かされます。西側の窓から見た見事な夕映え、大きな窓越しに眺めた山の端にかかる雲の形とそのダイナミックな動き、はたまた街灯に照らされた桜のあでやかな姿、新緑の若葉のもえた枝、秋には木々の紅葉が役目の終わりの直前の輝きをかいまみせ



感動する心を

健康体育学科教授
辻 悦子

てくれます。こんなことをいまだきの学生に話すと、不思議そうな顔をします。あまりにも日常的で身近なので気がつかないのです。情けないと思いませんか。

人間は考える葦といわれますが、動物とどこが違うかといえば感動する心を持っていることではないでしょうか。何も感じないところに良い考えも浮かばないでしょう。自分の身の回りに転がっていることに気を配るだけでも、人と接触がうまくいったりします。これからの生活の中で、感動する心を是非忘れないで、生きていって欲しいと思います。





私のお気に入り

臨床栄養学科教授
美祢 弘子

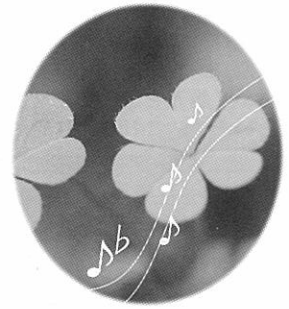
卒業生の皆さん、元気に社会人としての生活を送っていますか。学生時代とは異なり、いろいろな原因でストレスが貯まると思います。腹が立ったり落ち込んだ時、皆さんはどのように対処していますか。私の解決法をお教えしましょう。

35年位前、サウンド・オブ・ミュージックというミュージカル映画が大ヒットしました。ビデオやテレビで観た方もあると思います。当時も3回観た、4回観たと言う人が多く、もちろん私も観ました。しかし、子供じみている感じで大感動する程でもありませんでした。少し前に上映されたウエストサイド・

ストーリーの方が音楽も踊りも優れていたからです。ところが、しばらくしてジョン・エルトレンがその中の一曲「私のお気に入り」をアレンジしたジャズサックスの作品を発表しました。聞いたとたんすっきり虜になってしまい現在まで続いています。雷を怖がる子供達に「私のお気に入り」を次々と並べていると怖さや淋しさを忘れられるヒロインのマリアが教える歌ですが、何しろ相手が子供なので「私のお気に入り」の内容は“バラの花にかかる雨の滴に子猫のひげ”，“びかびかの銅のケトルにほかほかのミトン”，“白のボニーにばりばりのアップルパイ”，“月夜に飛ぶ野雁の群に白い服に青いベルトの女の子”，“まつ毛を鼻にかかひらひらの雪と春の近い雪解け頃”などというものです。

さあ、コルトレンのサックスリズムに乗り「私のお気に入り」を思いつ

くまに並べましょう。“コルトレンのサックスにサッチモのペット”，“ポプのフォークにエルビスのロック”，“ジョンのイマジンにアダモのインチャラー”，“猿の助の四の切りに玉三郎の阿古屋”，“義春のねじ式に漱石の猫”，“賢治のジョバンニに芭蕉の細道”，“ヨーヨーのバッハにカーターのダンク”。ほら腹の立つ事も落ち込んだ事も消えてしまいました！！



今年度、卒業されたみなさまは、国家試験の発表までは就職したものの仕事もあまり手につかず、夜も熟睡できなかったことと思います。しかし、発表が終わった今は安堵感とともに、仕事への情熱も増しつつあるかと思えます。

先日、「21世紀に伝えたい言葉」と言うやり取りの場面をテレビで見ました。もし、私に同じ問いをされたなら、「努力」という言葉を伝えたいですね。人の一生には、「今努力しなければならぬ」時期というものがあり、何回かあるように思います。偉そうに

書いている私自身も、今人生の折り返し時点を過ぎたばかりですが、努力しなければいけない時期が数回ありました。その一時期が就職しての数年です。今までは両親をはじめ、いろんな方々の庇護のもとに引かれたレールの上を、踏み外さないように、歩んでいけばよかったと思います。しかし、就職をきっかけに社会人としての責任と仕事上の責任が、両肩に重くのしかかってきます。特にみなさんは、人を対象とする専門職業に従事されたのですから、失敗やあやまちは許されません。就職

して数年間は社会人としての職業人としての基礎を形成すべく最大努力をして下さい。今努力すれば、将来きっといい結果が表れると確信します。

また、自分自身の心身が健康でなければ、病んでいる人の援助はできません。体に気をつけて頑張ってください。

今、努力を！

リハビリテーション学科教授
東嶋美佐子



●ご退任された先生方●

医療福祉学科：教授 竹内 一夫先生

小島晴洋助先生

助教授 高橋 進先生

宮岡 京子先生

講師 近藤 功行先生

臨床心理学科：教授 大羽 葵先生

保健看護学科：教授 甲田 禮子先生

助教授 鈴木江三子先生

健康体育学科：教授 小西 博喜先生

臨床栄養学科：講師 赤木亥久子先生

助手 渡邊 弘子先生

平成12年3月卒業生就職状況

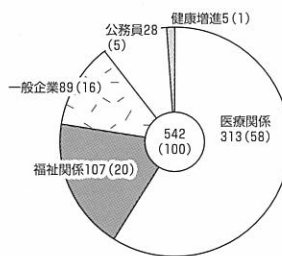
区分 学科	卒業者数	進学	その他	就職希望者			就職者数			就職率			(H11.3.31現在) 前年就職者数 (就職率)		
				計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
医療福祉	248	13	19	216 (87.1)	58	158	201	54	147	93.1	93.1	93.0	166 (92.7)	43 (91.5)	123 (93.2)
臨床心理	47	15	2	30 (63.8)	7	23	26	7	19	86.7	100	82.6	26 (92.9)	3 (75.0)	23 (95.8)
保健看護	52	6	4	42 (80.8)	3	39	42	3	39	100	100	100	45 (100)	3 (100)	42 (100)
医療情報	109	8	2	99 (90.8)	35	64	89	31	58	89.9	88.6	90.6	95 (88.0)	35 (92.1)	60 (85.7)
感覚矯正	55	1	1	53 (96.4)	4	49	53	4	49	100	100	100	47 (100)	4 (100)	43 (100)
健康体育	52	13	6	33 (63.5)	9	24	31	7	24	93.9	77.8	100	31 (100)	13 (100)	18 (100)
臨床栄養	55	2	5	48 (87.3)	1	47	46	1	45	95.8	100	95.7	44 (97.8)	1 (100)	43 (97.7)
リハビリ	57	3		54 (94.7)	8	46	54	8	46	100	100	100	50 (100)	13 (100)	37 (100)
合計	675	61	39	575 (85.2)	125	450	542	115	427	94.3	92.0	94.9	504 (94.6)	115 (93.5)	389 (94.9)

※()内は就職希望率

各学科別業種別就職状況

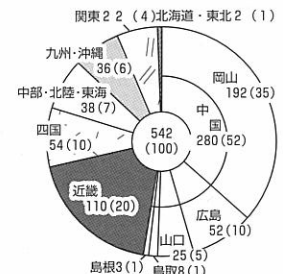
学科	業種	医療機関	福祉施設	一般企業	公務員 (臨時職員を含む)	健康増進	合計
医療福祉	93 % 47	84 42	19 9	5 2	0 0	201 100	
臨床心理	10 % 38	8 31	5 19	3 12	0 0	26 100	
保健看護	33 % 79	0 0	1 2	8 19	0 0	42 100	
医療情報	42 % 47	1 1	45 51	1 1	0 0	89 100	
感覚矯正	48 % 91	5 9	0 0	0 0	0 0	53 100	
健康体育	10 % 32	1 3	9 29	7 23	4 13	31 100	
臨床栄養	26 % 56	6 13	10 22	3 7	1 2	46 100	
リハビリ	51 % 94	2 4	0 0	1 2	0 0	54 100	
合計	313 % 58	107 20	89 16	28 5	5 1	542 100	

業種別就職先(全学科)



※()内数値は百分比(%)

地区別就職状況(全学科)



(医副大ニュース53号より)

平成11年度 国家試験及び認定試験合格状況

	試験	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国平均(%)
国家試験	社会福祉士	230	73	31.7	29.8
	精神保健福祉士	33	28	84.8	73.2
	保健婦(士)	51	35	68.6	89.1
	看護婦(士)	52	50	96.2	99.4
	視能訓練士	23	23	100	97.6
	言語聴覚士	32	28	87.5	42.4
	管理栄養士	55	29	52.7	22.7
	理学療法士	24	24	100	95.4
認定試験	作業療法士	33	33	100	97.5
	診療情報管理士	44	41	93.2	80
	健康運動実践指導者	47	47	100	66.1

(医福大ニュース54号より)

学 科 掲 示 板

川崎医療福祉大学は今年(平成12年)創立10周年を迎えます。開学以来の勤務をされていた竹内夫前学科長をはじめ8人の

教官が、この3月に他大学に転出され、同時に8人の先生が新たに4月に赴任して来られました。また今年はカリキュラムの新しい展開があって、2年生と3年生が時期をずらして同年内に現場実習をすることになり、実習指導を担当していただくために、施設現場で働いておられる専門家を中心に、18人の非常勤講師の先生を指導教官をお願いすることになりました。ですからこの春は人事の行き交いが活発で、不慣れな学科長の不手際はあれこれありますが、学科全体は新たな息吹きをもって次の10年に向けて出発をしました。

一般社会では大学卒業生の就職難が喧伝されていますし、確かに本学科卒業生の就職にもその影響を実感させるものが

ありますが、学生諸君との協力によって、結局は前年や前々年に劣らない就職率を達成して、本学や本学科の底力を感じます。先輩諸先生や卒業生の皆さんのご努力を思わずにはられません。

社会福祉士と新しい制度の精神保健福祉士の国家試験も、全国平均を上回る合格者を出し続けることができています。資格取得者の累積数も、全国の大学中、社会福祉士は全国5位、精神保健福祉士は2位です。以上、医療福祉学科の近況のご報告です。(10年を期に、学科の同窓会の開催を計画し始めています。)

医療福祉学科

親愛なる臨床心理学科卒業生の皆さんこんにちわ。卒業して1年目?数年目?新しい季節、その都度新たな思いを持たれていることでしょう。

我が学科の今年度最初のトピックといえば、専門科目「心理学史」でしょうか。各先生が1コマずつ担当し、ご自身が通られてきた学問的道程を軸とした講義を行う、という個性的な内容が計画されました。各先生の魅力がたっぷり!

その他、学内・学外で下記のようなことが行われています。

<福祉大臨床心理研究会>

本学科卒業生、教員、院生を参加者とする、ケース検討会を中心とした上記の会が発足されました。臨床能力の向上や卒後教育などが目的とされ、毎月一度、学内で行われます。

取りまとめは昨年度着任された助手の橋本・武井先生です。

臨床心理学科

<平成12年度臨床心理学科公開セミナー>
予定…9月上旬を予定しています。

<関西卒業生さんの勉強会>

関西在住の卒業生さんが2ヶ月に一度ほど勉強会を開催されているそうです。

年2回ほどは木下清先生もご参加とのこと。この5月20日は先生の喜寿のお祝い会だそうです。

また“勉強会”ではありませんが、九州の卒業生さん達数名も3月頃集まられた様子。岡山から離れた土地でもこのような会があるというのは、我が学科にとって心強いことであります。皆さん、お仲よく。

青嵐、空も緑も輝いています。さてもさても、どうぞお健やかに、のびやかに。連絡先変更のご通知はすかさず。

卒業生の皆さんお元気ですか?

今年卒業した方は、先輩方の足を引っ張りながら(?)頑張っていることと思います。

教員一同、医療事故等とても心配しております。

いつも初心に戻って、大学時代に学んだことを思い出して(覚えてなかった人は思い出せないかも?)、先輩が来た時にはいい先輩になれるように励んでください。

<退職教員の紹介>

甲田 禮子先生

…現在、地元高知県で初めての「専業」主婦生活をされています。鈴井江三子先生

…現在、広島県立保健福祉大学でご活躍中です。

<新任教員の紹介>

江幡 芳枝先生…母性看護学を担当

忠津佐和代先生…地域看護学を担当

瀬川 陸子先生…成人看護学を担当

池田 理恵先生…基礎看護学を担当

<第6回公開セミナー>

日程とテーマについて、只今計画中です。また皆さんへご案内を送りますので、振るってご参加ください。

<卒業生の皆さんへ>

先生方にお知らせしたいことや、近況報告、相談事など、何でもすぐに連絡してください。

連絡先 (e-mailアドレス)は

○齋藤 泰一 tai@R.

○島崎 玲子 simazaki@

○菊井 和子 kikui@

○太湯 好子 futoyu@

○柳 修平 willow@

○深井喜代子 fukai@

○津島ひろ江 tsushima@

@の後は mw.kawasaki-m.ac.jpです。

保健看護学科

医療情報学科

<学会開催予定>

第24回日本POS医療学会を再来年開催する予定です。奮ってご参加下さい。

開催日:2002年3月23日(土)・24日(日)

会場:川崎医療福祉大学

テーマ:POSの原点に立ち返って

—医療チームによる診療記録—

参加会員数:約3,000名

学会長:上田 智

<診療情報管理士 卒業生の受験資格について>

以下の科目の履修単位(病院会指定)を修得し、レポートを提出していれば、通信教育(2年)を免除され、受験資格を得ることが出来ます。また、履修科目名は、入学年度により異なりますので、詳しいことは学科の方に問い合わせをして下さい。

医学概論、解剖学、外科学・外傷学、内科学、生理学、産科学(周産期含む)、診療録管理通論、診療録管理室運用、分類法総論、分類法実習、医学用語概論、医療情報学(OA含む)

(未修得科目については、本学での講義を受講可能な場合があります。(相談要))

<第25回日本診療録管理学会開催報告>

1999年9月9日、本大学の施設を利用して、日本診療録管理学会が開催されました。本学会のテーマは「診療情報管理士の育成」で、教育問題と共にわが国に於ける医療の分野での話題は、カルテ開示の問題、電子カルテの問題等、日常診療に於いてカルテに関連した多くの問題が提起されており、その現状を反映してか、例年の本学会参加者の2倍以上の参加があり、大成功をおさめました。

感覚矯正学科

感覚矯正学科卒業のみなさんお元気ですか？

視能矯正専攻、言語聴覚専攻と各々職場での業務内容は異なると思いますが、医福大で学んだことを礎に日々励んでおられることと思います。田淵学科長をはじめ、先生方も皆さんの後輩たちの教育・指導にご尽力を注がれておられます。

卒業されて数年が経ちますが、困ったことなどがあつたら恩師のところに足を運んでみるのも良いのではないのでしょうか。覚えていますか？長年にわたり皆さんのお世話をしてくださった研究補助員の大島史子さん。昨年冬にご結婚され、この6月にご出産のため退職されました。

さて、感覚矯正学科では本年度、以下

のような行事・催し物等を予定しておりますので是非ご参加ください。

○感覚矯正学科公開セミナー

「感覚障害における在宅リハビリテーション」
「視覚障害・コミュニケーション障害
・摂食嚥下障害へのアプローチ」

講師 田淵昭雄教授、熊倉勇美教授

10月7日(土)

13:30～16:00 於3601講義室

<視能矯正専攻>

○視能矯正専攻では1年に1度、学術会とサイネリアの会(同窓会)を開催しております。

案内をお送りする予定ですので、是非ご参加ください。なお、問い合わせは吉田までお願いします。

○勤務先、住所、氏名(姓)に変更がございましたら、視能矯正専攻(内)4632と、本学同窓会まで必ずご連絡ください。

<言語聴覚専攻>

○同窓会

9月30日(土)15:00～ 於6301教室
熊倉先生、種村先生を交えて楽しく過ごしましょう。 会費500円程度。

○岡山県言語聴覚士会成人部会主催研修会

「認知リハビリについて」(種村留美先生)
日時:10月28日(土)13時～17時
場所:川崎医療福祉大学

参加費:会員1,000円、非会員1,500円

○卒業生臨床勉強会

卒業生が主体となり、毎月1回(土)に臨床における様々な問題点を症例報告を交えてディスカッションしている場です。

以上参加希望および問い合わせはe-mailもしくはfaxでご連絡下さい。

e-mail: sensorys@mw.kawasaki-m.ac.jp

fax: 086-463-7126

健康体育学科

本学も開学10年目を迎え、本学科でも、教員の移動、カリキュラムの変更などがあり、保健体育教員免許、健康運動実践指導者認定資格などに加えて養護教諭免許、第1種衛生管理者免許等が取得できるようになりました。

卒業された皆さまが、お元気でそれぞれの場でご活躍されますよう、教職員一同願っております。どうぞ近況報告も兼ね、お気軽に大学へご連絡ください。

<お知らせ>

1.平成12年度公開セミナー

(担当:小野寺男、星島葉子)

日時:平成12年

前期(5月～6月)

後期(10月～11月)予定

場所:川崎医療福祉大学温水プール

内容:[中高年のための

アクアエクササイズ]

対象:一般

(※今回はアクアポールを用いたプログラムを展開中です。卒業生の皆さんも参加してください。)

2.平成12年度卒業研究発表会

(担当:長尾光城、星島葉子)

日時:平成13年1月27日(土)

9時～16時(予定)

場所:川崎医療福祉大学

<学科への連絡先、窓口>

研究補助員

河野由美子(かわのゆみこ)

tel 086-462-1111(内線4907)

E-mail hss-9f@mw.kawasaki-m.ac.jp

卒業生の皆さん、お元気ですか。川崎医療福祉大学も10年目の節目の年を迎えました。皆さんも、それぞれ職場、家庭等々でご活躍のことと思います。

今回は、同窓会報を通じて皆さんにお知らせをさせていただきます。

<管理栄養士国家試験対策>

本年度は、既卒者対象の管理栄養士国家試験対策通信講座を実施します。まだ、管理栄養士を未取得の方で受講希望がありましたら申し込み(8月末日締切)をしてください。

<平成12年度管理栄養士国家試験対策通信講座>

実施時期:平成12年8月～

実施方法:模擬テスト(5回予定)を通信制で実施し、個人成績を送付する。

(1回1,000円)

対策講義(H.13.1月頃予定)は、福祉大学において実施する。(既卒者無料)

問い合わせ先:〒701-0193倉敷市松島288

皆さん、お元気ですか！

今年6年目を迎えたリハビリテーション学科は、3月に2期生57名が卒業(今年も国家試験は全員合格)、同窓生は1期と併せて111名になりました。

同窓生の皆さん、お元気ですか。各職場で活躍されていますか。

「職場」と言えば4年生の時に行われる臨床実習、4月から9月まで8週間ずつ3期に分けて実習施設で過ごし毎日がとても緊張し、鍛えられ、夏休みもない6ヶ月間だったのではないのでしょうか。

今年も後輩達が実習で各施設にお世話になる事と思います。よろしくご指導をお願いします。

リハビリテーション学科

臨床栄養学科

川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床栄養学科

坂元(浅野)浩子(学科研究補助員)

e-mail: asanoh@mw.kawasaki-m.ac.jp

<就職活動>

現在、7期生が就職活動をしています。皆さんの勤務先または近隣の施設で求人はありませんか？お知らせ下さい。

また、卒業生の皆さんについても、就職相談窓口を設けています。

問い合わせ先:

新卒担当 就職進路指導委員会平成12年度担当

武政 睦子先生(4年次生クラス担任)

既卒者担当

三宅 妙子先生

<その他>

上記以外で何か問い合わせ、相談、近況報告等ありましたらご連絡ください。

<新任の先生の紹介>

小田 滋(教授)

古我 知成(助教授)

菅原 憲一(P.T・講師)

平成11年4月より3名の先生が仲間入りしました。よろしくお祈りします。

<公開セミナー開催>

本年度も、公開セミナーを8月に予定しています。理学・作業療法士になりたい方、リハビリに関心のある方がおられましたらご案内下さい。

<リハビリテーション学科のe-mailアドレスのお知らせ>

reha@mw.kawasaki-m.ac.jp

<お知らせ>

9月23日(土)リハビリテーション学科同窓会を予定しています。

同窓生
近況報告

私の財産

私が津山中央病院眼科に就職してもうすぐ1年半になるようになっています。この間に病院は新病院へ移転し、電子カルテが導入されるといふ大きな変化があり、アッという間に過ぎたように思われます。

就職したばかりの頃は、検査を行うことが精一杯で、患者さんと会話らしい会話は出来ていなかったように思われます。しかし、外来には毎日100人程度の患者さんが来院しますが、毎回検査を繰り返すことで、患



者さんの名前を聞いただけで、その方の顔や性格、病状などが頭に浮かんでくるようになりました。患者さんも私の顔と名前を覚えてくれて、「片山さん」と声をかけてもらえるようになりました。ただ、時間に追われて検査をこなしていくのではなく、短い時間の中でも、患者一人一人の言葉に耳を傾け、親身になってコミュニケーションをとることが大切だと実感しました。

この1年半の間に築いた患者との信頼関係は、私のORTとしての財産だと思っています。



感覚矯正学科
第5期卒
片山 静香

現在の私の近況お知らせします!!

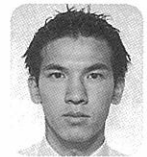
お元気ですか?覚えていませんか医療情報学科卒業の皆さん?私は学籍番号9421080の野口健二です。私は皆さんのこと覚えてますよ。今日はこの場をお借りして私の現在の近況についてお話ししたいと思います。

私は現在社会人として東京で一人暮らしをしながら働いています・会社の場所は東京ドームのすぐ裏にあります。東京ドームに来た際はご連絡ください。それから私の職種は営業で、目黒区を毎日ぐるぐる回っています。目黒区のことなら何でも聞いて!と言う感じです。

次に私の私生活についてお話しします。私は社会人になるまで一人暮らしというものをしたことがなくやっ

ては車で都内の道を覚えるためにフラフラしています。この前は長嶋茂雄の家が近いと言うことを発見しましたし、今話題の桜坂も家から近いことが分かりました。これが今現在の私の生活です。非常に簡単ですがお話しはここまでです。最後にご結婚された方々にこの場をお借りして「ご結婚おめでとうございます」。それでは皆さんお体に気をつけてがんばってください。

追伸
同窓会したいですね。



医療情報学科
第4期卒
野口 健二

●平成11年度川崎医療福祉大学同窓会決算報告●

*収入の部(単位:円)

項目	決算額
前年度繰越金	20,798,832
平成10年度同窓会費	5,460,000
預金利息	3,171
雑収入	3,800
収入合計	26,265,803

*支出の部(単位:円)

項目	決算額
会長 (行動費)	31,920
合計	31,920
会計 (印刷費)	2,350
(事務用品費)	2,053
(郵送費)	3,310
合計	7,713
事務局 (交通費)	127,440
(定例会運営費)	20,813
(郵送費)	6,560
(事務用品費)	20,851
(電話代)	43,707
(人件費)	444,000
(雑費)	38,331
合計	701,702
渉外調査局 (名簿作成費)	565,241
(総合版名簿作成費)	950,000
(雑費)	5,734
合計	1,520,975
企画局 (卒業記念品費)	551,250
合計	551,250
支出合計	2,813,560

●平成12年度川崎医療福祉大学同窓会予算報告(案)●

*収入の部(単位:円)

項目	金額
前年度繰越金	
(郵便定額預金)	5,000,000
(中国銀行定期預金)	16,000,000
(中国銀行普通預金)	2,382,113
(現金)	70,130
(平成11年度同窓会費)	10,125,000
収入合計	33,577,243

*支出の部(単位:円)

項目	金額
会長 (行動費)	100,000
合計	100,000
会計 (印刷費)	10,000
(郵送費)	100,000
(雑費)	30,000
合計	140,000
事務局 (交通費)	150,000
(定例会運営費)	10,000
(郵送費)	5,000
(事務用品費)	20,000
(電話代)	50,000
(人件費)	500,000
(雑費)	140,000
合計	875,000
渉外調査局 (名簿作成費)	50,000
(雑費)	6,000
合計	506,000
企画局 (同窓会報作成費)	1,400,000
(卒業記念品費)	500,000
合計	1,900,000
予備費 (奨学金・データベース作成)	3,000,000
合計	3,000,000
支出合計	6,521,000
繰越金	27,056,243

事務局

同窓会では、年に約2回定例会(役員会議)を開き、各局の活動状況・計画について話し合っています。

事務局としては、昨年度の元旦(平成12年1月1日)、山陽新聞に同窓会の広告を掲載するというを試みてみました。

今後は、同窓会とその会員の皆様との情報交換(Eメール等)を大切に活動をしていきたいと思っています。

情報提供のある方、ご質問等のある方は、下記までご連絡下さい。又、同窓会の活動に役員として参加していただける方も連絡をお待ちしています。

会計

平成10年度収支会計報告および平成11年度収支予算につきましては平成11年6月13日に開催されました川崎医療福祉大学同窓会平成11年度第1回理事会にて承認をいただきました。

また平成11年度ご卒業されました皆様に本会へのご入会の案内をさせていただきましたところ全体の66.2%にあたる447名の方のご賛同をいただきました。(平成12年4月30日現在) <今年度の活動>

平成11年度収支会計報告および平成12年度収支予算案の作成、及び理事会での承認にむけて準備しています。また、来春ご卒業されます平成12年度卒業生の皆様に本会入会のご案内をさせていただきます。さらに既にご卒業されている方でまだ本会入会のための終身会費をお納めされていない方にご案内を送付させていただきます予定です。

渉外調査局

渉外調査局では、平成11年8月に、1期生から5期生まで約2900名の卒業生を掲載した総合版名簿を発行いたしました。これは同窓会設立以来はじめてのことでした。

また、9月には、5期生のみを掲載した単年度版名簿を発行しました。

平成12年度の活動計画としては、第6期生単年度版名簿の発行を予定しております。現在、同窓会では卒業生の情報をデータベース化する方向で検討を進めております。同窓会と大学の各学科、事務局(学生課、就職課、入試広報室)にも情報を提供し相互に連携を保ち、有効に活用することで、同窓会はもちろんのこと大学の発展にも寄与することができればと考えております。この作業が今後の新たな課題かと思われれます。

大学も開学10年目を迎えました。今年度から新学科が増設され、本学の卒業生が今まで以上に、さまざまな分野で活躍することが予想されます。社会に出ると母校が懐かしく思われ、同窓生としての結束というものが強まるのではないかと思います。その結束をさらに強めていただくために、卒業生名簿を活用していただけたら幸いです。

企画局

平成11年度、第6期卒業生に卒業記念品として校章、校名入りボールペンを寄贈いたしました。また、昨年度は例年発行となっております川崎医療福祉大学同窓会報第4号を発行することが出来ず、同窓生の皆様には多大なご迷惑をおかけいたしました。したがって、平成12年度は年度内に機関誌第5号を発行できるよう活動したいと考えております。

次号作成に向けて、同窓生である皆様の情報をお寄せいただければ幸いです。些細な出来事でも構いませんので、何かありましたら同窓会までFAX、Eメールなどでご連絡ください。

**●編集委員●**

川崎 賢紀(第3期卒・感覚矯正学科) 木下 幸文(第1期卒・健康体育学科)

●編集後期●

西暦2000年秋、まもなくオーストラリアはシドニーでオリンピックが開催されるが、今年は西暦にちなんで"2000"という記念すべき数字が世間でもてはやされているようだ。我が川崎医療福祉大学も今年で記念すべき創立10周年を迎える。月日が経つのは早いもので、その分だけ年を重ねてしまったと思えるのは私だけであろうか。

開学10周年を迎えた本学であるが、旧国道2号から眺める校舎の外観に大きな変容はなく、落ち着きを与えるブ

ラウン色の棟が今も変わらずそびえ立っている。小子化そして昨今、大学存続の危機が叫ばれる中、新しい医療そして福祉科学の草分け的存在である本学が、その輝きを失わずに優秀な人材を輩出し活躍し続けることを同窓生として願わずにはいられない。偶然にも今年は創立10周年、新学科開設、博士課程第1期卒業とビッグイベントが相続く。そんな2000年は川崎医療福祉大学にとって新たな転機なのかもしれない。

(川崎 賢紀)

川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学内同窓会事務局

Tel・Fax: (086)462-8541

E-mail: dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

URL: http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw

編集・デザイン: 株式会社スタジオ・ケン

〒719-1126 岡山県総社市総社1-14-12